

# 結果の概要Ⅱ

## 2 市町別人口

### (1) 総人口

推計人口を市町別にみると、浜松市が794,025人で最も多く、次いで静岡市の695,416人と続き、この両市で県人口の40.7%を占めている。

前年に比べ人口が増加したのは4市町で、増加数は長泉町の295人が最も多く、増加率でも長泉町の0.69%が最も高くなっている。

一方、人口が減少したのは31市町で、減少数は静岡市の3,671人が最も多く、減少率では川根本町の2.94%が最も高くなっている。

図7 市町別人口増減率（平成30年10月1日現在 対前年比）

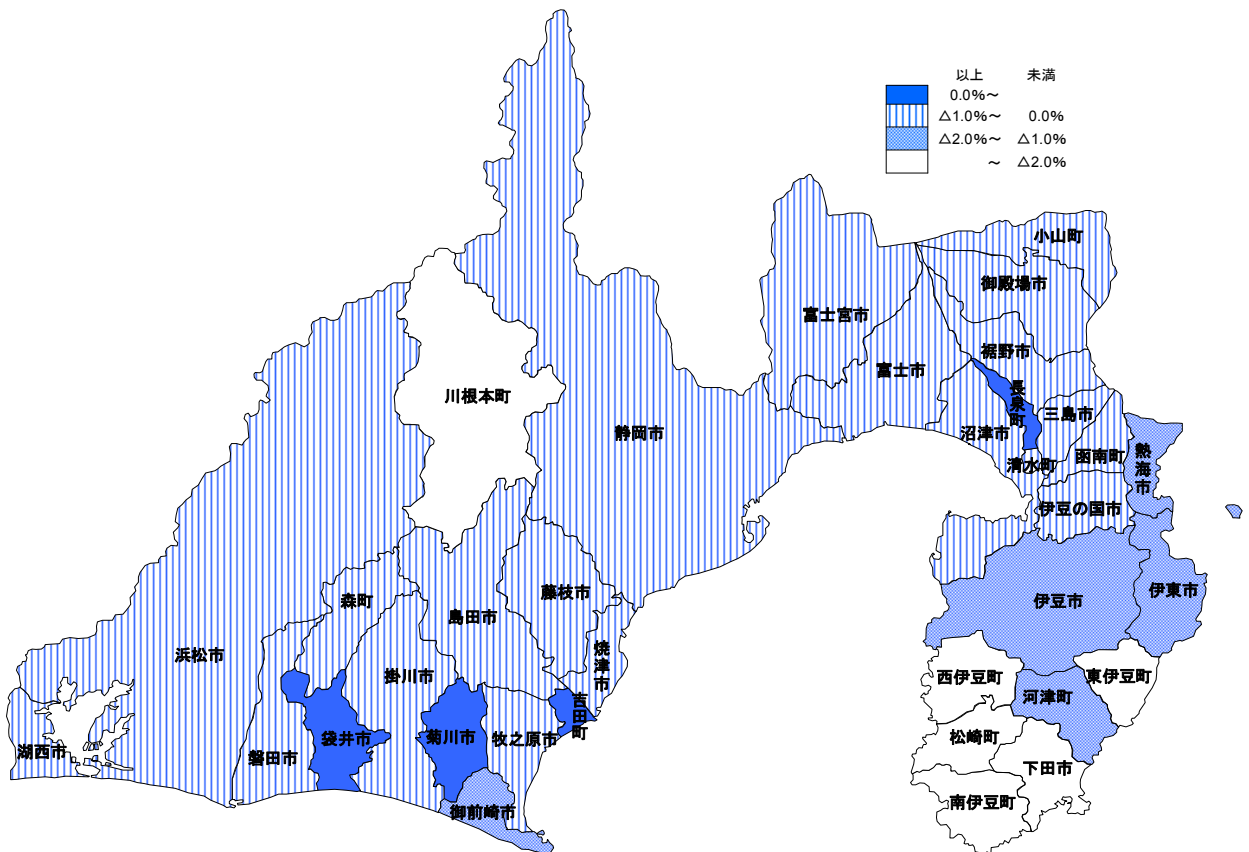


表 3 人口増減の大きい市町

順位	増加数(人)			順位	増加率(%)			順位	減少数(人)			順位	減少率(%)		
1	長泉町	295	1	1	長泉町	0.69	1	1	静岡市	3,671	1	1	川根本町	2.94	2
2	袋井市	291	2	2	菊川市	0.61	-	2	浜松市	2,089	3	2	西伊豆町	2.85	1
3	菊川市	284	-	3	袋井市	0.34	2	3	沼津市	1,312	2	3	松崎町	2.26	3
4	吉田町	34	5	4	吉田町	0.12	5	4	富士宮市	817	13	4	下田市	2.22	4
※当年増加市町数 4								5	伊東市	779	7	5	東伊豆町	2.10	6
※前年増加市町数 5								6	富士市	766	4	6	南伊豆町	2.07	5
(注) <span style="background-color: #ADD8E6;"> </span> 内の数字は前年の順位(「-」は減から増へ変化)								7	焼津市	742	5	7	伊豆市	1.50	8
								8	島田市	663	6	8	河津町	1.48	7
								9	三島市	651	9	9	熱海市	1.33	17
								10	藤枝市	538	12	10	御前崎市	1.23	19

(2) 自然動態

1町(長泉町)で増加し、増加数は182人、増加率は0.42%となっている。一方、34市町で減少となり、減少数は静岡市が3,417人で最も多く、減少率では西伊豆町が2.12%で最も高くなっている。

表 4 自然増減の大きい市町

順位	増加数(人)			順位	増加率(%)			順位	減少数(人)			順位	減少率(%)		
1	長泉町	182	2	1	長泉町	0.42	1	1	静岡市	3,417	1	1	西伊豆町	2.121	1
※当年増加市町数 1								2	浜松市	2,182	2	2	南伊豆町	1.888	4
※前年増加市町数 2								3	沼津市	1,325	3	3	川根本町	1.859	2
(注) <span style="background-color: #ADD8E6;"> </span> 内の数字は前年の順位								4	伊東市	847	4	4	松崎町	1.735	3
								5	富士市	842	5	5	河津町	1.734	7
								6	焼津市	749	6	6	東伊豆町	1.699	6
								7	富士宮市	605	11	7	熱海市	1.614	5
								8	熱海市	597	7	8	下田市	1.295	8
								9	島田市	554	9	9	伊豆市	1.288	9
								10	藤枝市	530	8	10	伊東市	1.264	10

(3) 社会動態

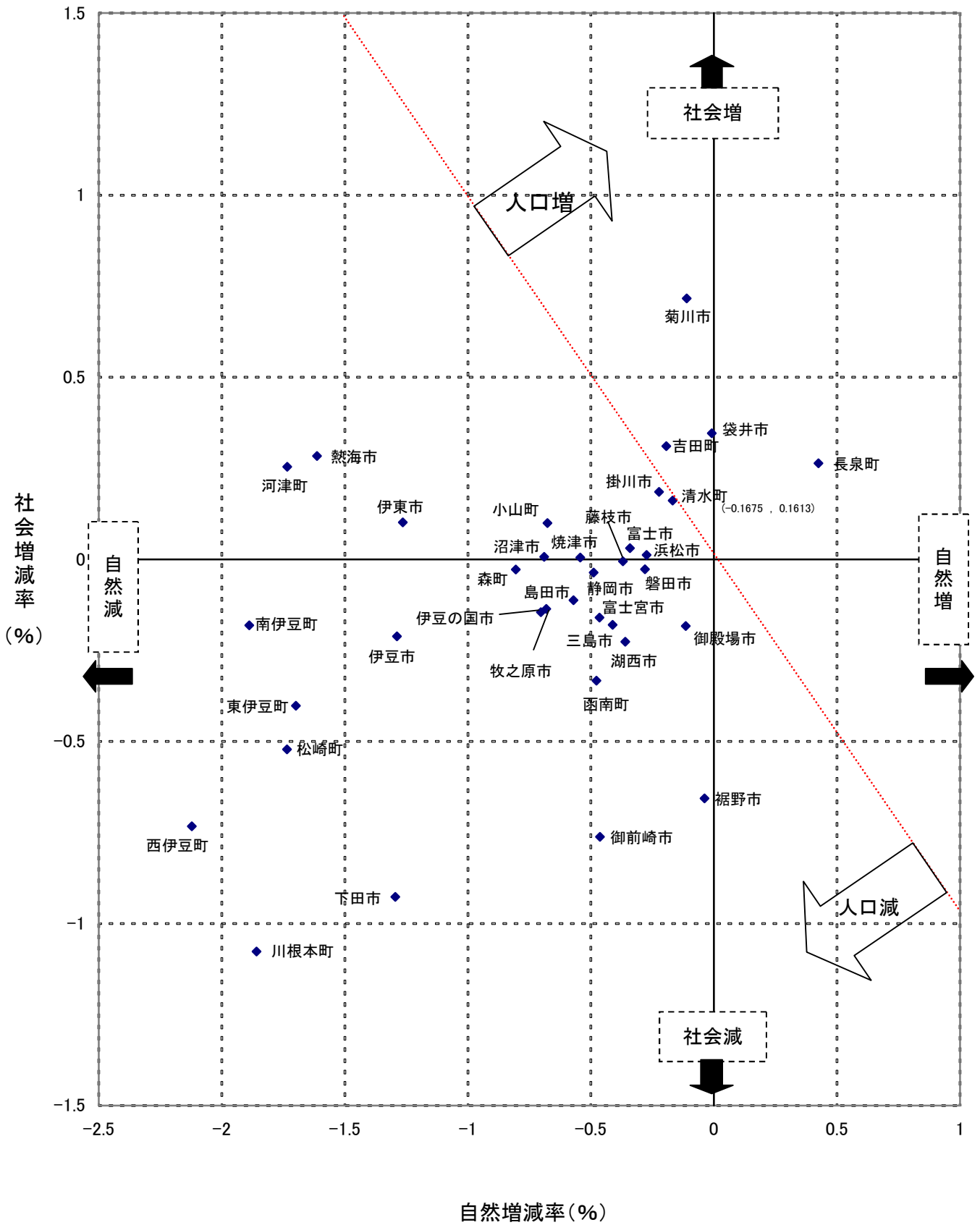
14市町で増加し、増加数は菊川市が336人で最も多く、増加率でも菊川市が0.72%で最も高くなっている。一方、21市町で減少となり、減少数は裾野市が342人で最も多く、減少率では川根本町が1.08%で最も高くなっている。

表 5 社会増減の大きい市町

順位	増加数(人)			順位	増加率(%)			順位	減少数(人)			順位	減少率(%)		
1	菊川市	336	14	1	菊川市	0.72	14	1	裾野市	342	3	1	川根本町	1.08	1
2	袋井市	299	9	2	袋井市	0.35	10	2	静岡市	254	-	2	下田市	0.93	4
3	掛川市	213	4	3	吉田町	0.31	5	3	御前崎市	245	18	3	御前崎市	0.76	18
4	長泉町	113	5	4	熱海市	0.28	1	4	富士宮市	212	-	4	西伊豆町	0.73	2
5	熱海市	105	3	5	長泉町	0.26	2	5	下田市	204	6	5	裾野市	0.66	8
6	浜松市	93	1	6	河津町	0.25	-	6	三島市	200	16	6	松崎町	0.52	3
7	吉田町	90	11	7	掛川市	0.19	4	7	御殿場市	161	7	7	東伊豆町	0.40	12
8	富士市	76	-	8	清水町	0.16	7	8	湖西市	133	2	8	函南町	0.33	11
9	伊東市	68	7	9	伊東市	0.102	6	9	函南町	124	10	9	湖西市	0.23	7
10	清水町	52	13	10	小山町	0.100	-	10	島田市	109	8	10	伊豆市	0.21	10

(注)  内の数字は前年の順位(「-」は減から増、増から減へ変化)

図 8 自然・社会増減率による市町の分布



#### (4) 年齢構成

年齢3区分別の構成割合をみると、年少人口割合が最も高いのは長泉町の16.09%、最も低いのは熱海市の6.38%で、その差は9.71ポイントとなっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは長泉町の61.89%、最も低いのは西伊豆町の42.85%で、その差は19.04ポイントとなっている。

老年人口割合が最も高いのは西伊豆町の50.18%、最も低いのは長泉町の22.02%で、その差は28.16ポイントとなっている。

表 6 市町別年齢構成割合

##### (1) 上位10市町

(単位:%)

順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口				
1	長泉町	16.09	1	1	長泉町	61.89	1	1	西伊豆町	50.18	1
2	袋井市	14.99	2	2	吉田町	61.10	3	2	川根本町	49.00	2
3	菊川市	14.39	4	3	袋井市	61.03	2	3	熱海市	47.20	3
4	裾野市	14.018	5	4	御殿場市	60.98	4	4	南伊豆町	46.95	4
5	御殿場市	14.015	3	5	清水町	60.75	5	5	松崎町	46.34	5
6	掛川市	13.95	6	6	裾野市	60.11	6	6	東伊豆町	46.30	6
7	清水町	13.49	8	7	湖西市	59.82	8	7	河津町	42.42	7
8	磐田市	13.44	9	8	小山町	59.45	7	8	伊東市	42.30	8
9	吉田町	13.38	7	9	富士市	59.15	9	9	下田市	41.52	9
10	浜松市	13.24	10	10	菊川市	58.97	10	10	伊豆市	40.66	10

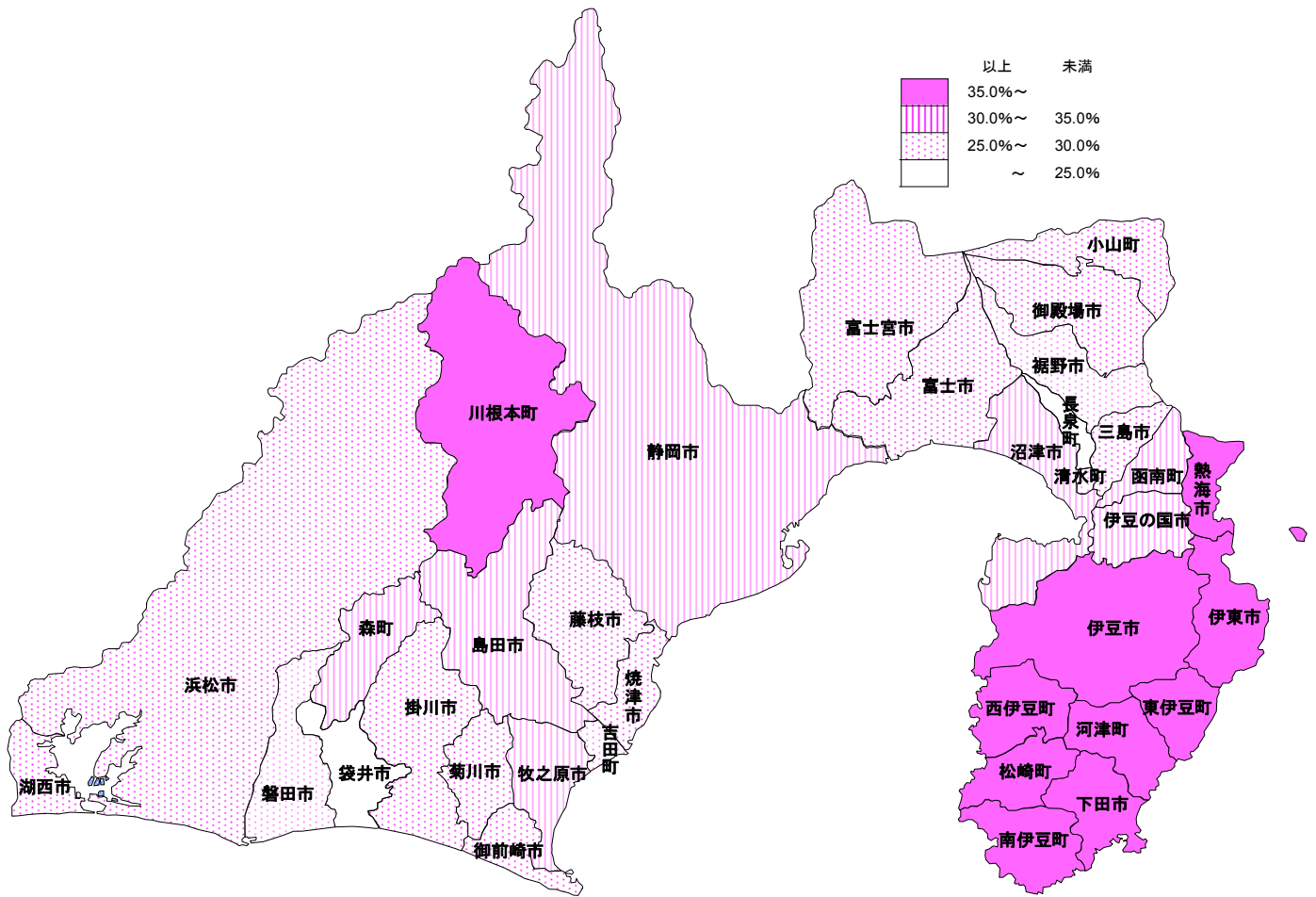
##### (2) 下位10市町

(単位:%)

順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口				
1	熱海市	6.38	1	1	西伊豆町	42.85	1	1	長泉町	22.02	1
2	川根本町	6.57	2	2	南伊豆町	44.23	2	2	袋井市	23.98	2
3	西伊豆町	6.98	3	3	川根本町	44.44	3	3	御殿場市	25.00	3
4	東伊豆町	7.39	4	4	松崎町	45.63	4	4	吉田町	25.52	4
5	松崎町	8.03	5	5	東伊豆町	46.31	6	5	清水町	25.76	6
6	南伊豆町	8.82	7	6	熱海市	46.42	5	6	裾野市	25.87	5
7	伊豆市	8.83	6	7	河津町	47.41	7	7	菊川市	26.64	7
8	下田市	9.15	8	8	伊東市	48.40	8	8	掛川市	27.29	8
9	伊東市	9.30	9	9	下田市	49.33	9	9	湖西市	27.51	9
10	河津町	10.17	10	10	伊豆市	50.52	10	10	浜松市	27.89	11

(注) □内の数字は前年の順位

図 9 市町別老年人口割合（平成 30 年 10 月 1 日現在）



(5) 平均年齢

平均年齢が最も高いのは、川根本町の 59.37 歳、最も低いのは長泉町の 43.21 歳で、その差は 16.16 歳となっている。

表 7 市町別平均年齢

(単位:歳)

順位	高い市町	順位	低い市町
1	川根本町 59.37	1	長泉町 43.21
2	西伊豆町 59.01	2	袋井市 44.48
3	熱海市 57.56	3	御殿場市 45.15
4	松崎町 57.37	4	裾野市 45.55
5	南伊豆町 56.98	5	菊川市 45.76
6	東伊豆町 56.89	6	清水町 45.78
7	下田市 54.75	8	吉田町 45.82
8	河津町 54.63	7	掛川市 46.61
9	伊豆市 54.52	9	磐田市 46.80
10	伊東市 54.42	10	湖西市 46.86

(注) 内の数字は前年の順位

### 3 地域圏別年齢構成割合

平成30年10月1日現在の年齢3区分別の構成割合を地域圏別にみると、年少人口割合が最も高いのは「西部地域」の13.42%、最も低いのは「伊豆半島地域」の10.48%となっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは「東部地域」の58.95%、最も低いのは「伊豆半島地域」の54.24%となっている。

老年人口割合が最も高いのは「伊豆半島地域」の35.28%、最も低いのは「西部地域」の27.67%となっている。

また、老年人口割合を平成12年国勢調査時と比べると、「伊豆半島地域」は15.35ポイント増、「東部地域」は12.67ポイント増、「中部地域」は12.12ポイント増、「西部地域」は10.27ポイント増となっている。

なお、県全体では11.88ポイント増となっている。

図10 地域圏別年齢構成割合の推移

図10-1

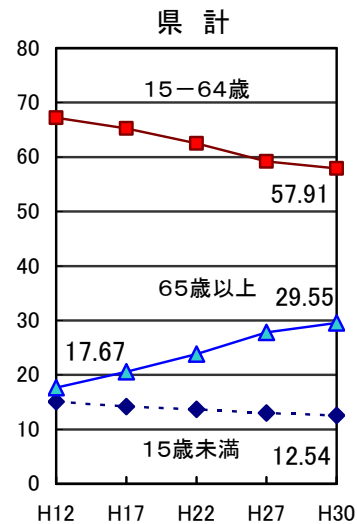


図10-2

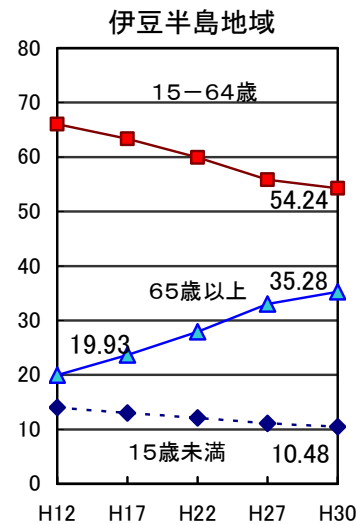


図10-3

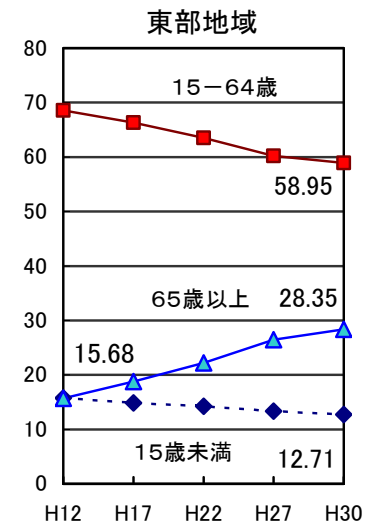


図10-4

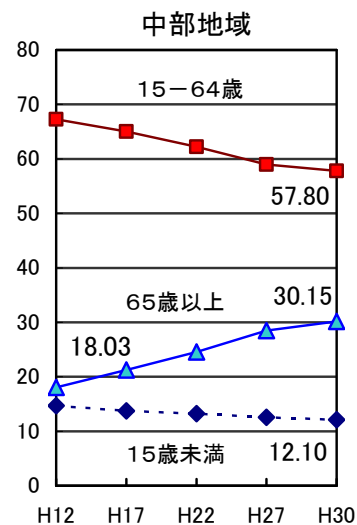
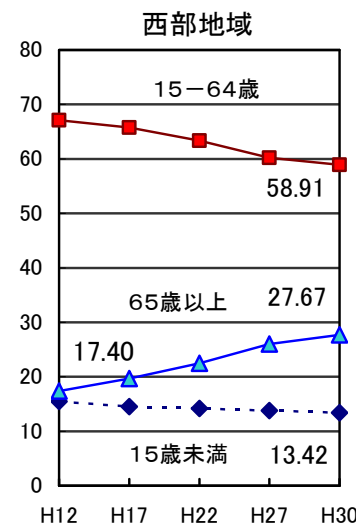


図10-5



各市町ごとのグラフは統計表に掲載。

## 4 外国人人口

### (1) 総人口

平成30年10月1日現在の本県の外国人人口は、74,766人で前年に比べ5,979人増加し、増加率は8.7%となっている。

男女別にみると、男36,102人、女38,664人で、性比は93.37となっている。

本県の総人口に占める割合は、2.04%で、前年より0.17ポイント増加した。

表 8 外国人人口の推移

年	外国人推計人口(人)			総数の増減率(%)	総人口に占める割合(%)
	総数	男	女		
26年	45,608	20,513	25,095	-2.4	1.23
27年	59,596	27,649	31,947	30.7	1.61
28年	63,049	29,448	33,601	5.8	1.71
29年	68,787	32,600	36,187	9.1	1.87
30年	74,766	36,102	38,664	8.7	2.04

※平成27年の人口は、国勢調査確定値。  
※外国人人口には国籍不明の者は含まない。

### (2) 市町別人口

外国人人口は、浜松市の19,527人が最も多く、外国人人口全体の26.12%を占めている。

前年に比べ外国人人口が増加したのは29市町で、増加数では浜松市の1,422人が最も多くなっている。

一方、前年より減少したのは6市町で、減少数では裾野市の63人が最も多くなっている。

地域圏ごとの総人口に占める外国人の割合は、西部地域で高くなっている。

表 9 市町別外国人人口

順位	外国人人口(人)		市町総人口に占める割合(%)		増加数(人)		減少数(人)			
1	浜松市	19,527	1	菊川市	6.20	1	浜松市	1,422	裾野市	63
2	静岡市	8,592	2	吉田町	4.64	2	静岡市	784	川根本町	6
3	磐田市	6,689	3	湖西市	4.16	3	磐田市	469	松崎町	4
4	富士市	4,536	4	磐田市	4.02	4	袋井市	413	伊豆市	3
5	掛川市	3,571	5	袋井市	3.99	5	沼津市	374	南伊豆町	2

(注)  内の数字は前年の順位

図 1 1 市町別外国人人口割合（平成 30 年 10 月 1 日現在）

